

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1123	(H.22)No.	1123
-----------	------	-----------	------

事務事業名 旧細川邸やなせ宿利活用推進事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	市街地整備室	我山博章	63-7784
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 20 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施 策	3	市街地整備
	小 施 策	1	中央部のまちづくり
	重点施策コード	4-3.魅力ある市街地の形成	

2. 予算区分

会計区分	事業コード	410801
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 土木費	ふるさと雇用再生特別基金事業	
項 都市計画費	(小事業名)	
目 都市計画総務費	旧細川邸やなせ宿利活用推進事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>名張の原風景のひとつである初瀬街道沿いの町並みは、当時の面影を残す地域の歴史資源であります。町屋改修の規範として、また名張地区既成市街地に訪れるきっかけづくりや来訪者をおもてなしする場として必要な事業(情報発信、飲食、物販等)を実践することを目的とするやなせ宿の維持管理を行う。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>やなせ宿の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の積極的な情報発信に関する事。 ・地域住民や来訪者の交流、集客の向上を目的とする事業に関する事。 ・地域物産の振興に関する事。 ・町屋としての空間を活用し、魅力を高める活動に関する事。 ・自主的かつ自立的なまちづくりの推進に関する事。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・やなせ宿企画運営委託料 2,539千円	・やなせ宿企画運営委託料 2,539千円	補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)
直接事業費	2,539千円	2,539千円			
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金	2,523	2,539		
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 16	0	0	0	0
人工数	職員 0.25人	0.20人			
	臨時職員等 0.20人	0.25人			
概算人件費	(0千円) 2,165千円	1,885千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 4,704千円	4,424千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	-	-	-	-	85,100
	実績		17,000	36,000	55,400		
成果指標	目標	%	-	-	-	-	60.0
	実績		57.2	53.8	49.4		
活動指標	目標	%	-	-	-	-	39.0
	実績		36.0	75.0	76.7		
考察及び今後の対応方針	・やなせ宿の入館者数は、順調に増加している。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・名張まちなか再生プランを中心とした公共政策を実現する公の施設として管理・運営できる体制を構築することが市民自らの手による地域まちづくりの展開へとつながる。 ・まちなか運営協議会の母体である名張まちなか再生委員会が、昨年度解散した。	・名張らしさを活かすまちづくりを行い、一定の収益を生み出すことにより長期継続のできる施設としての管理運営が必要。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について その他団体
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 拡大推進
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
平成23年度事業完了予定	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など ・指定管理者制度の導入に向け、各種関係団体等との検討協議を行う。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など ・まちなか再生の発展的な取り組み、交流拠点施設としての施設稼働・サービス向上。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1125	(H.22)No.	1125
-----------	------	-----------	------

事務事業名		土地区画整理関係経費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		市街地整備室		我山博章	63-7784
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	3	市街地整備
	小施策	1	中央部のまちづくり
	重点施策コード	4-3.魅力ある市街地の形成	

2. 予算区分

会計区分		事業コード	411201
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	土地区画整理関係経費	
項	都市計画費	(小事業名)	
目	都市計画総務費	土地区画整理関係経費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
平成20年度に完了した中央西土地区画整理事業について、21年度より一般会計において、保留地販売や公益施設用地の活用などの残務を継続して実施している。	

めざす効果(事業目的)
都市計画道路を根幹として公共施設等の整備改善を図るとともに、本市の中心地区としてふさわしい、健全で活気ある市街地の形成を促進する。 保留地の早期完売、また、公益施設用地(15,000㎡)の民間事業者への貸付による活用事業の推進に取り組む。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施		
	・需用費 64千円 保留地販売促進消耗品 等	・需用費 250千円 保留地販売促進消耗品 等	業務委託(全部・一部)により実施		
	・役務費 1,119千円 保留地販売促進広告代 保留地販売紹介料 等	・役務費 3,198千円 保留地販売促進広告代 保留地販売価格鑑定手数料 保留地販売紹介料 等	指定管理		
	・委託料 798千円 保留地除草業務 等	・委託料 1,705千円 保留地除草業務 等	補助金・交付金		
	・その他 123千円	・その他 149千円	その他 ()		
直接事業費	2,104千円	5,302千円	4,100千円	4,100千円	4,100千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 2,104	5,302	4,100	4,100	4,100
人工数					
職員	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人
臨時職員等	0.40人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
概算人件費	(0千円) 3,235千円	2,895千円	2,895千円	2,895千円	2,895千円
+ 総事業費	(0千円) 5,339千円	8,197千円	6,995千円	6,995千円	6,995千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	%	67.5	71.1	73.5		84.0
	実績						
成果指標	目標	件	57.2	53.8	49.4		60.0
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	希中央の宅地化は順調に進んでいる。今後、尚一層宅地化の促進に努める。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・地価下落及び希中央地内の売物件の増加等の背景から、今後も当該地内の不動産の市場取引価格の続落が予想される。 ・公益施設用地活用事業については、昨年度末、民間事業者との基本協定を締結し、現在、事業契約の締結や建設工事着手に向けた協議を進めている。	・保留地の販売価格が、市場での取引価格と比べてやや高い。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 一部実践している	協働等の主な相手先について 事業者
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 情報提供・情報交換	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など ・保留地の販売促進PR ・公益施設用地活用事業について、事業契約の締結や建設工事着手に向けた協議を進める。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など ・現行どおり継続するものの、保留地販売や公益施設用地活用事業について、他の事務事業との連携・統合の検討も必要	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1178	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名	まちなか支援事業費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
企画財政部	地域経営室	大西 利和	111
新・継	事業期間	根拠法令等	
新規	平成 23 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施 策	3	市街地整備
	小 施 策	1	中央部のまちづくり
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	027702
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 総務費	まちなか支援事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 地域振興費	まちなか支援事業費	

3. 事務事業の概要

事業概要
<p>平成16年度に名張市総合計画に位置付けられた「まちの顔づくりプラン」の実現に向け、多様な主体の協働により、「名張まちなか再生プラン」を策定した。</p> <p>そのプランを実現するために、平成16年度から平成20年度まで都市再生整備計画に位置付けられたまちとして、国土交通省のまちづくり交付金事業の補助金により名張地区の市街地整備事業を実施してきた。</p> <p>平成21年度よりソフト事業を展開し、継続的にまちづくりを進めていく。</p>

めざす効果(事業目的)
<p>名張の原風景と人情が息づく魅力ある中心市街地の創造を目標とし、風情ある街の佇まいや初瀬街道の街並みを磨くとともに、街歩きが楽しめるような道空間を磨くことにより、市内外の人々の交流の場として賑わいのある元気な都市空間を創造する。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] ・まちなか連続講演会の開催 2回 (市街地整備室からの 配当替により事業を 実施 159千円)	[事業内容(事業量)・事業費] ・まちなか再生シンポジウムの開催 ・まちなか啓発用パンフレットの作成	市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
直接事業費	0千円	456千円	200千円	200千円	200千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他()					
一般財源	(0) 0	456	200	200	200	
人工数	職員	0.03人	0.09人	0.05人	0.05人	0.05人
	臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 219千円	657千円	365千円	365千円	365千円	
+ 総事業費	(0千円) 219千円	1,113千円	565千円	565千円	565千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	中心市街地に魅力があると感じる市民の割合	%	57.2	53.8	49.4	
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	名張地区まちづくり協議会の活動及び現在策定中の地域ビジョンとの整合性を図る必要があります。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していないが、今後可能性がある	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) その他	協働等の今後の取組について 今後、取組み予定
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	主体的に取り組む住民を主体とした組織の設立
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある	旧細川邸やなせ宿利活用推進事業等と統合し、名張地区市街地の活性化を図る。
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	住民を主体とした組織の設立

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 住民を主体とした組織を設立しその組織が主体的な取組を始めるめでは市として現在の取組を進める必要がある。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4029	(H.22)No.	4029
-----------	------	-----------	------

事務事業名		中心市街地活性化事業	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	市街地整備室	我山博章	63-7784
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	3	市街地整備
	小施策	1	中央部のまちづくり
	重点施策コード	4-3.魅力ある市街地の形成	

2. 予算区分

会計区分	事業コード	411001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	中心市街地活性化事業
項	都市計画費	(小事業名)
目	都市計画総務費	中心市街地活性化事業

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>名張まちなか再生プランは、名張地区既成市街地の再生を図るべく平成17年度から10年間で計画期間として実施可能箇所より順次事業化を行うことで策定されている。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>市民、事業者、各種団体、市など多様な主体の共通するまちづくり指針として重要な役割を担っており、さまざまな主体の参加と協働によってはじめて成果が得られるものとする。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	(市街地整備室) ・消耗品 19千円 (地域経営室) ・報償費 158千円 ・消耗品 1千円 当初予算473千円の内、 369千円を年度途中に地域経営室に配当替を実施。	地域経営室(まちなか支援事業)と連携しながら、各種関係団体等との協議を進める。	補助金・交付金	その他 ()	
直接事業費	178千円		平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 178	0	0	0	0
人工数					
職員	0.30人	0.20人			
臨時職員等	0.00人	0.00人			
概算人件費	(0千円) 2,190千円	1,460千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 2,368千円	1,460千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	%	36.0	75.0	76.7		39.0
	実績						
成果指標	目標	%	57.2	53.8	49.4		60.0
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・まちなか再生の主たる財源としていたまちづくり交付金事業の終了、更には、まちなか再生プランの推進母体となっていた名張まちなか再生委員会の解散に伴い、残事業の事業化は実質的に不可能となった。 ・地域経営室を主たる窓口に関係者との協議を継続している。	

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していないが、今後可能性がある	協働等の主な相手先について 現時点で相手先は確定していない
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 実行委員会・協議会設置	協働等の今後の取組について 今後、取組み予定
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(事務改善)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など ・事業継続のためには、名張地区まちづくり協議会をはじめとする各種関係団体等との協議が不可欠。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など ・事業継続のためには、名張地区まちづくり協議会をはじめとする各種関係団体等との協議が不可欠。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4067	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名 希中央公益施設用地活用事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	市街地整備室	我山博章	63-7784
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 22 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	3	市街地整備
	小施策	1	中央部のまちづくり
	重点施策コード	4-3.魅力ある市街地の形成	

2. 予算区分

会計区分	事業コード	411701
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 土木費	希中央公益施設用地活用事業	
項 都市計画費	(小事業名)	
目 都市計画総務費	希中央公益施設用地活用事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
希中央公益施設用地の民間事業者への賃貸借による活用事業	

めざす効果(事業目的)	
賑わいと魅力のある中心市街地の創出	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
		[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施
			補助金・交付金	その他 ()	
主な事業の実績・計画	・公有財産購入費 772,831千円 土地開発公社所有地及び 土地開発基金財産の買戻し	民間事業者と、土地賃貸借 に係る事業契約の締結や、建 設工事着手に向けた協議を 進める。	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費	772,831千円				
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	746,100			
	その他()				
一般財源	(0) 26,731	0	0	0	0
人工数	職員	0.65人	0.40人		
	臨時職員等	0.10人	0.00人		
概算人件費	(0千円) 4,915千円	2,920千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 777,746千円	2,920千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	中心市街地に魅力があると感じる市民の割合	件	57.2	53.8	49.4	60.0
	実績						
活動指標	目標	希中央の宅地化率	%	67.5	71.1	73.5	84.0
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	希中央の宅地化は順調に進んでいる。今後、尚一層宅地化促進に努める。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・昨年度末、民間事業者と当該用地の貸付に係る基本協定を締結した。 ・現在、事業契約の締結や建設工事着手に向けた協議を進めている。	

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか できる	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
平成23年度事業完了予定	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など ・事業契約の締結や建設工事着手に向けた協議を進める。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など ・他の事務事業との連携・統合の検討も必要	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5031	(H.22)No.	5031
-----------	------	-----------	------

事務事業名 旧細川邸やなせ宿等維持管理費			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	市街地整備室	我山博章	63-7784
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 20 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	3	市街地整備
	小施策	1	中央部のまちづくり
	重点施策コード	4-3.魅力ある市街地の形成	

2. 予算区分

会計区分	事業コード	410601
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	旧細川邸やなせ宿等維持管理費
項	都市計画費	(小事業名)
目	都市計画総務費	旧細川邸やなせ宿等維持管理費

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>名張の原風景のひとつである初瀬街道沿いの町並みは、当時の面影を残す地域の歴史資源であります。町屋改修の規範として、また名張地区既成市街地に訪れるきっかけづくりや来訪者をおもてなしする場として必要な事業(情報発信、飲食、物販等)を実践することを目的とするやなせ宿の維持管理を行う。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>やなせ宿の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の積極的な情報発信に関する事。 ・地域住民や来訪者の交流、集客の向上を目的とする事業に関する事。 ・地域物産の振興に関する事。 ・町屋としての空間を活用し、魅力を高める活動に関する事。 ・自主的かつ自立的なまちづくりの推進に関する事。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)									
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理							
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費 728千円 ・役務費 327千円 ・施設維持管理等委託料 2,555千円 ・備品購入費 84千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費 746千円 ・役務費 366千円 ・施設維持管理等委託料 2,569千円 ・備品購入費 50千円 	<ul style="list-style-type: none"> 補助金・交付金 その他 () 	<table border="1"> <tr> <th>平成24年度 (計画)</th> <th>平成25年度 (計画)</th> <th>平成26年度 (計画)</th> </tr> <tr> <td>需用費(746千円)、役務費(366千円)、施設維持管理等委託料(2,569千円)、備品購入費(50千円)、やなせ宿企画運営委託料(2,539千円)</td> <td>指定管理者制度導入検討中</td> <td>同左</td> </tr> </table>	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	需用費(746千円)、役務費(366千円)、施設維持管理等委託料(2,569千円)、備品購入費(50千円)、やなせ宿企画運営委託料(2,539千円)	指定管理者制度導入検討中	同左		
平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)										
需用費(746千円)、役務費(366千円)、施設維持管理等委託料(2,569千円)、備品購入費(50千円)、やなせ宿企画運営委託料(2,539千円)	指定管理者制度導入検討中	同左										
直接事業費	3,694千円	3,731千円	6,270千円	6,270千円	6,270千円							
財源内訳(千円)												
国庫支出金												
県支出金												
地方債												
その他(使用料)	756	800	173	173	173							
一般財源	(0) 2,938	2,931	6,097	6,097	6,097							
人工数												
職員	0.25人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人							
臨時職員等	0.20人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人							
概算人件費	(0千円) 2,165千円	1,885千円	1,885千円	1,885千円	1,885千円							
+ 総事業費	(0千円) 5,859千円	5,616千円	8,155千円	8,155千円	8,155千円							

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	17,000	36,000	55,400		85,100
	実績						
成果指標	目標	%	57.2	53.8	49.4		60.0
	実績						
成果指標	目標	%	36.0	75.0	76.7		39
	実績						
考察及び今後の対応方針	・やなせ宿の入館者数は、順調に増加している。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・名張まちなか再生プランを中心とした公共政策を実現する公の施設として管理・運営できる体制を構築することが市民自らの手による地域まちづくりの展開へとつながる。 ・まちなか運営協議会の母体である名張まちなか再生委員会が、昨年度解散した。	・名張らしさを活かすまちづくりを行い、一定の収益を生み出すことにより長期継続のできる施設としての管理運営が必要。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について その他団体
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 拡大推進
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(事務改善)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など ・指定管理者制度の導入に向け、各種関係団体等との検討協議を行う。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など ・まちなか再生の発展的な取り組み、交流拠点施設としての施設稼働・サービス向上。	